学校番号	110

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「地理総合」（東京書籍）　「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	「新詳地理資料 COMPLETE」（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・授業中のノートについては、板書を書き写すだけでは評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたこと、クラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。
・授業、教科書、資料集だけでなく、テレビ・新聞などマスメディアからの情報を通じて、しっかり判断できる能力を養いましょう。
・つねに「なぜ？」「どうして？」を意識し、自ら考える能力を養いましょう。

2　学習の到達目標

① 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図などを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
② 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察したことを効果的に説明する力を養う。
③ 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。 ・地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けて構想することができる。 ・考察、構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる。	・知識及び技能を獲得したり、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。 ・地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1章　地図や地理情報システムでとらえる現代世界	第1節 1　緯度・経度 2　地球儀と世界地図 3　日本の位置と領域	a:地軸の傾きと自転・公転、地図にはさまざまな種類があること、また日本の領域にまつわる問題について正しく理解している。 b:　時差の影響やそれに対する工夫、地図の種類に応じた用途の多様性などについて考察したことを効果的に説明することができる。 c：時差の影響、日本の領域にまつわる問題を解決するための自分なりの意見をもつために、粘り強く考察する態度を見せている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
		第2節 1　地形図のルール 2　主題図の種類と読み取り 3　地理情報システムと地図	a:地形図から読み取れること、主題図の表現方法と、地理情報システム（GIS）とは何かを正しく理解している。 b:地形図で読み取ったこと、主題図の比較から見出したこと、また GIS の利用によって、私たちの生活にどのような影響があるかを効果的に説明できる。 c:地形図、主題図、GIS について理解するために粘り強い態度を見せており、それらをどのように社会に役立てていけるかを考えることができている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
		第3節 1　国境をこえる人々の移動 2　拡大する貿易 3　つながる世界、多極化する世界	a:　国境をこえる人々の動き、国家間のさまざまな結び付きとその役割を、主題図や統計資料から読み取り、正しく理解できている。	定期考査		

前期			b: 観光客の国際移動、貿易品目・相手国の変化と産業構造・国家間の関係の変化などの社会的背景を多面的・多角的にとらえることができている。 c:様々な分野における国家間の結び付きを理解すると同時に、その国際社会で自分は何ができるのかを考えようとしている。		定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	第2章 国際理解と国際協力	第1節 1 文化の地域性と多様性 2 宗教と人々の暮らし	a:地域による文化の違いとその理由、世界の宗教分布と宗教ごとに特徴的な生活習慣や規範について正しく理解している。 b:文化の違いや世界の宗教分布に関する歴史的背景を多面的・多角的に考察し、さらにそれらを尊重する態度が見られる。	定期考査	定期考査 提出プリント	
後期		課題学習 「国民性の違い」	b:外国の人々が持つ日本人のイメージ、日本人が持つ様々な国の人々に対するイメージを、インターネットなどを使って調べ、説明することができる。 c:様々な国の人々が持つ、他国の人々へのイメージを理解しようと努力する態度が見られる。		レポート 発表	レポート 発表
		第2節 1 多様な気候とその分布 2 熱帯の人々の暮らし 3 乾燥帯の人々の暮らし 4 温帯の人々の暮らし 5 亜寒帯・寒帯の人々の暮らし	a:それぞれの気候帯の各気候区における気温・降水量, 風などの気候要素の特徴について正しく理解している。 b:各気候区における人々の生活の工夫を理解し、その工夫を自分の住む地域にも生かすことを考えるなど、多角的に考察することができる。 c:世界の様々な地域における生活に関心を持ち、国際社会の一員としてその生活を守ろうという態度を見せている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート

	第3章　様々な地球的課題と国際協力	1　地球環境問題と資源・エネルギー問題 2　人口問題と食料問題 3　民族問題と難民問題 4　SDGs、持続可能な社会の実現をめざして	a:地球上で起こっている様々な問題を、グラフなどの資料を読み取ることで正しく理解している。また、それらの問題は人間の活動によって引き起こされていることを自覚し、持続可能な社会をつくるために、各国が現在行っている政策を理解している。 b:地球上で起こっている様々な問題は、相互に深い関連性を持っていることを理解し、国際社会に生きる人間として、それらの問題を改善するために自分自身が取り組むべきことを考察し、説明することができる。 c:地球上で起こっている様々な問題を、身近に感じようとしており、問題を改善するために自分がすべきことを見つけようと努力する態度が見られる。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	第4章　自然環境と防災	1　日本の自然環境の特徴 2　様々な自然災害と防災	a:地震、火山の噴火、気象災害などはどのように発生するのかということ、日本は災害が起きやすい国であること、また防災・減災に向けた各地域の取り組みを正しく理解している b:様々な災害の仕組みや、災害が起きた時に取るべき行動、必要な情報を受け取る方法を考察し、説明することができる。 c:災害のしくみと、防災に関する十分な知識を得ようとしており、いつ自分の身の回りで災害が起こってもいいように、準備を怠らないという姿勢が見られる。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度